

平成27年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立野崎西小学校
作成日	平成28年2月12日

1 教育目標

自ら学ぶ意欲と強い信念を持ち、社会の変化に対応して
たくましく生きる心豊かな児童の育成に努める。

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が地域と交流を深めて、地域における教育・文化活動の情報センターという役割を果たすよう取組んでいるのはたいへん意義があると思う。 ・文科省の委託事業「地域を活用した学校丸ごとと子供の体力向上推進事業」のモデル校となり、授業力と体力の向上を目指す取り組みは素晴らしいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年・季節に合わせて、さまざまに取り組み、豊かな心の育成に努めている。 ・ゲストティチャーを招くなど体験的な活動を多く取り入れていることはゆたかな心を育てるにはたいへん重要なことであると思う。 ・若い先生方の多い中、全職員で全児童を育てることはたいへん大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上のために教職員が一丸となり、学力テストの分析をし、それをもとに取組んでいることは素晴らしいと思うが、全国平均をめざしてさらに取組を進めてほしい。 ・夏休みに補習を行うなど教員が熱心に取組んでいると思うが和歌山県の課題を認識してさらなる取組が望まれる。
取組の状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の多くの方々に協力を得て、「開かれた学校」づくりに取組んでいる。 ・野崎地区との合同作品展は、地域の方の恒例の行事として続けることが望まれる。 ・6年生が感謝の気持ちを込めて、見守り隊の方々にプレゼントをした。全校児童の前で手渡しすることは大変良いことである。 ・学校便りを通して学校と地域の連携はできているように思う。今年度はいじめへの取組を特別号にしたことも意義がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての教育活動を通して、豊かな心を育成するように努めている。子どもたちにとっては、さまざまな体験をすることが大切である。そうした観点でゆたかな心を育てられるような取組みがなされている。 ・いじめに関する取組で「いじめは必ずあるもの」と考えて取組んでいることはたいへん良いことである。 ・子どもたちのあいさつはよくできているが、言葉遣いが気になる。思いやりの心をさらに育ててほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・27年度の全国学力テストの結果を見ると少し残念である。全国平均を目指して取組んでほしい。 ・体力テストの結果を見るとさすが体育科の研究校であると感じた。休憩時間に若い先生方が子どもたちと遊んでいる姿はたいへん素晴らしいと感じた。外に出て遊ぶ子どもたちが多いことにも感心させられた。 ・放課後の補習や長期休業中の補習をできる限り増やしてほしい。 ・教室での机のコの字型の配置やグループでの討議があるのがよかった。教育機器の活用が効果的で子ども達の学習意欲の向上につながっていた。
検証結果に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・校区内の保育所との交流は、2年生になろうとしている1年生にとって、大変意義がある。校区内にある他の保育園や幼稚園にも声をかけて交流ができないものかと思う。 ・学校近くの公園の清掃を地域の自治会と共にこなす事は大変よいことである。 ・地域や保護者、関係機関と共に和歌山大学への大津波を想定した避難訓練はたいへん素晴らしいものであったが、たくさんの関係機関や地域・保護者との連携が1回目より充実していたように思う。毎年実施し、さらに素晴らしい避難訓練を実施してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌山市で一番早い運動会は、緑が鮮やかでとてもよかった。今年は保護者と地域の方の協力のもと芝生の補修を行ったことは素晴らしいと思う。 ・いじめや問題行動に対して、常に高いアンテナを張っていて、担任だけでなく学校全体で取組んでいることは評価できる。早期対応早期解決に心がけみんなが笑顔でいられる学校を心がけてほしい。 ・校内は美しく落ち着いて学習に取組める環境である。 ・今の児童はたくましさに欠けるので教育目標はたいへんよいと思う。その取り組みを進めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を参観させて頂くと一人一人を大切にしながら、個々の力を十分発揮させていく工夫や努力がなされていた。若い教員が前向きに授業に取り組んでいると思うが、一方で年配の先生方から指導法等多くのことを学んでほしい。これからの和歌山の教育を担う立場にあると思うので、さらに教員としての力量を高めてほしい。 ・ほとんどの子どもたちは授業に対して、意欲的に取組んでいたが、声が小さかったり姿勢が悪かったりする子どももいたので、きちんと指導をする必要があると思う。
改善方法に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学校便りや様々な会議を通して今後も地域への情報提供や連携を深めてほしい。 ・子ども達の安全を守るためにも地域との連携はさらに深めてほしい。 ・学校の老朽化が気になるので、地域として応援できることはしていきたい。(体育館や給食室や遊具等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな心の育成は、学校教育の大きな柱ではあるが、子どもたちが豊かな生活体験が得られるよう、家庭や地域の教育力にも積極的に働きかけていく必要がある。 ・一人ひとりが大切にされ、認められる取組みや環境作りに努め、難しい時代ではあると思うが今後も教職員・保護者・地域が一丸となり、取組んでもらいたい。 ・先生と児童の距離が近く信頼関係が築かれていると思う。信頼関係はとても大切なので今後とも信頼関係を大切にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力・体力の向上は、学校として計画的意図的にその方策を考え、目標を持って取組まなければならない。職員で学力テストを分析し、課題や目標を決め学校全体で取組む姿勢は素晴らしいと思うが、さらに少しでもいい結果を残していただけるよう願っている。 ・27年度県学力テストの結果をふまえて、28年度は学力向上のための指導方法を考えてほしい。

3 その他のご意見

・学校の芝生化により、子どもたちは今まで以上に元気で生き生きと活動しているように思える。放課後運動場を開放することで子どもたちがよく遊びに来るようになったという話を聞いてほっとしている。最近家の中やゲーム機で遊ぶ子どもたちが増え、公園や地域でも外で遊ぶ子どもたちの姿を見かけなくなった。

・参観授業を見て保護者の中にスマートフォンを手にされている方や廊下で話をしている方がいるのが気になった。保護者の意識改善も必要であるが、1人で多くの保護者が教室に入って参観ができるような工夫が必要である。

・若い先生が多く、ベテランの先生が少ないのが気になる。若い先生方の指導力を高めるために偏りのない年齢配分が必要だと感じた。

・地域や保護者、関係機関と連携した大津波を想定した和歌山大学への避難訓練は将来予想される南海トラフの大地震への対応としてたいへん重要なものとなるのでぜひ今後も続けてほしい。地域としてもできる限りの協力はしたい。

・子どもたちに対するきめ細かい配慮が求められる。子どもたちの規範意識がくずれ、いじめ等问题行動が起こる中で、先生方がよりアンテナを高くし、個々の事象に対応してほしい。